

さくら第548号

令和 7年8月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬 重雄
 春江町境 17-7・Tel.51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



『挨拶は魔法のことば』

夏休み前のある日の午後2時半すぎ、下校する女子児童とすれ違う時に「こんにちは」とあいさつされ、歩きながら、「こんにちは。ありがとう。元気がいいね。」と返事をすれば、笑顔で通り過ぎていきました。

たった数秒のできごとですが、とても気持ちよく仕事に向かうことができました。3年生ぐらいと思われるその児童は一人で下校中です。振り返って見ると、後ろ姿からも元氣よさが感じられ、とてもうれしい気分になりました。

お金も時間もかからず、たったひと言を交わすだけで相手が気持ちよくなり、自分もまた心が晴れぱれする「魔法のことば」が挨拶です。

「一挨拶・いちあい いっさつ」という言葉があります。12世紀ごろの中国で、心を開いて心に近づくという禅語が生まれ、その後の時代の流れのなかで「挨拶」と呼ばれるようになってきたといえます。

「挨拶」の字は、相手に近づき心を開くようすを表し、「拶」の字は、相手に迫り言葉で問いただすようすを表すといい、挨拶は、心の距離を一瞬でちぢめるものです。

日本の武家社会や町人文化は挨拶をやがて礼儀作法として重んじ、礼儀を欠かさないための決まり事、動作そのものが目的になってきました。挨拶する時には、ふだんより少しだけハッキリと声を出し、顔を見て、できれば名前を呼び、ありがとう、今日もよろしくなどといった短いひと事をそえます。

挨拶は心と心をつなげる働きをします。相手への敬いや感謝の気持ちを表します。外国ではよく握手をします。これは、私は武器を持っていませんということを示すためです。

さて、「返報性(へんぼうせい)の法則」というものがあり、相手が何かをしてくれたら、相手に何かを返さねばという心理的な働きが作用します。明るい挨拶をしてもらえたら、こちらも明るい挨拶をしなければという気持ちになります。半面、悪いことをされたら悪いことで返そうという気持ちも起きることもあるようです。

日々の生活のなかで交わされる主な挨拶としては、おはよう、いただきます、ごちそうさま、行ってきます、行ってらっしゃい、ただいま、おかえり、おやすみなどです。こんにちは、こんばんは、さようなら、ありがとうなどもあります。

では効果的な挨拶にはどのようなことがあるのでしょうか。笑顔で相手の目を見て、相手に聞こえやすい声の大きさと、タイミングよく言葉を交わしたいものです。

ところで、「おはようございます」にはどのような意味が込められているのでしょうか。由来は歌舞伎は準備がかかるのでずっと前から着いてたくします。それに対して裏方や弟子などがねぎらいの意味をこめて使ったお早いお着きでございますが変化してなったといえます。

「こんにちは」には、今日のご機嫌いかがですか、今日はいいいお天気ですねと言っていたのが、明治時代の教科書に省略されてからこんにちはだけが広まったといえます。

「おやすみなさい」は、宿屋の主人が客に対して「ゆっくりとお休みになってください」という言葉に由来し、それがだんだん省略されておやすみなさいになったそうです。

それでは挨拶することでどのような事が得られるか3つをあげます。①相手にあなたを知っていますという心理的な安心感を生みます。②「おはよう」のひと言から学校や友だちとの話になるなどコミュニケーションのきっかけが生まれます。③長い期間にわたり続く挨拶の交換は互いの信頼関係を深めていきます。

何気ない挨拶のなかに相手の表情や声の大きさや質、動作などにふだんと異なる「何か」を見出すことがあります。ちょっとした仕草で思いやりの心が深まります。

螢火の
今宵の闇の
美しき

季語
螢火・夏

高浜
虚子

螢が光りながら飛び交う、今日の宵の闇がなんと美しいことか。